

夏播きトウモロコシ P2307 および P3898 の熊本県における品種特性

「ハ°イニア 125 日 (P2307)」および「ハ°イニア 130 日 (P3898)」、は収量性および耐倒伏性に優れ、熊本県における夏播きトウモロコシの品種として有望である。

農業研究センター畜産研究所飼料研究室 (担当者: 北浦日出世)

研究のねらい

販売中、若しくは数年以内に市販される飼料用トウモロコシ新品種を、県奨励品種 (「ゴールドデント KD751 (KD751)」、(「スーパー夏皇 (SH2933) 」) と比較し、特性を明らかにすることにより、優良な能力を有する新品種の速やかな普及を図る。

研究の成果

1. 8月上旬に播種した場合、「ハ°イニア 125 日 (P2307)」および「ハ°イニア 130 日 (P3898)」の播種から収穫適期までの日数は平均 98.3~103.7 日で 11月中旬に収穫できる (表 1)。
2. 「ハ°イニア 125 日 (P2307)」および「ハ°イニア 130 日 (P3898)」は、比較品種と同程度の耐倒伏性と病害虫への抵抗性が期待できる (表 2)。
3. 「ハ°イニア 125 日 (P2307)」および「ハ°イニア 130 日 (P3898)」は、それぞれ比較品種と同等の乾物収量が期待でき、本県における飼料用トウモロコシ品種として有望である (表 3、図 1)。

※比較品種：過去3年間の試験データに基づき、熊本県で奨励品種に指定されている品種

成果の活用面・留意点

1. 生育状況および収量については気象・土壌環境の変化による影響を受けるため、施肥管理や適正な時期における播種を徹底すること。
2. 「ハ°イニア 125 日 (P2307)」は除草剤ワンホープ乳剤の適用品種外である。

【具体的データ】 No. 1029 (令和5年(2023年)6月) 分類コード01-11 熊本県農林水産部

表1 生育特性に関する結果

品種	商品名	相対熟度	播種から収穫適期までの日数	初期生育	稈長 cm	着子穂高 cm	着子穂高/稈長 %
P2307	ハ・イニア125日	125	98.3	6.2	230.6	112.7 <sup>A</sup>	49.0
KD751W	ゴールド・テントKD751W 比較	125	98.3	6.1	224.4	102.9 <sup>B</sup>	46.1
P3898	ハ・イニア130日	130	103.7	5.8	197.8	101.1	51.3
SH2933	スノー・テント夏皇 比較	135	103.7	6.2	209.4	106.8	51.3

- 1) 数値は調査年の平均
- 2) 播種期は令和元年8月5日、令和2年8月4日、令和4年8月3日。  
(令和3年度は豪雨による湿害の影響で試験中止)
- 3) 令和2年度はツマジロクサヨトウの発生が甚大であり、11月4日に収穫した。
- 4) 1区は12㎡とし、3反復で実施した。
- 5) 施肥量は、たい肥300kg/a、N:1.5kg/a、P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>:1.5kg/a、K<sub>2</sub>O:1.5kg/a。
- 6) 異符号間で有意差あり (A-B:p<0.01, T-test)

表2 倒伏性、病害抵抗性に関する調査結果

品種	商品名	倒伏 %	折損 %	虫害 %	ごま葉枯病 %	南方サビ病 %
P2307	ハ・イニア125日	2.4	20.3	32.0	1.2	2.9
KD751W	ゴールド・テントKD751W 比較	4.7	14.3	28.3	1.4	2.7
P3898	ハ・イニア130日	0.6	5.3	29.4	1.1	2.1
SH2933	スノー・テント夏皇 比較	1.9	15.3	23.6	1.0	1.0

- 1) 数値は調査年の平均
- 2) 虫害はアワヨトウ、アワノメイガ、ツマジロクサヨトウによる倒伏・折損
- 3) 品種間で有意差なし (T-test)

表3 収量性に関する調査結果

品種	商品名	乾物茎葉収量 kg/a	乾物雌穂収量 kg/a	総乾物収量 kg/a	総乾物率 %
P2307	ハ・イニア125日	86.8	64.2	151.0	24.3 <sup>A</sup>
KD751W	ゴールド・テントKD751W 比較	93.7	54.1	147.8	27.1 <sup>B</sup>
P3898	ハ・イニア130日	92.1	54.4	146.5	27.3
SH2933	スノー・テント夏皇 比較	95.3	61.3	156.6	26.7

- 1) 数値は調査年の平均
- 2) 異符号間で有意差あり (A-B:p<0.01, T-test)

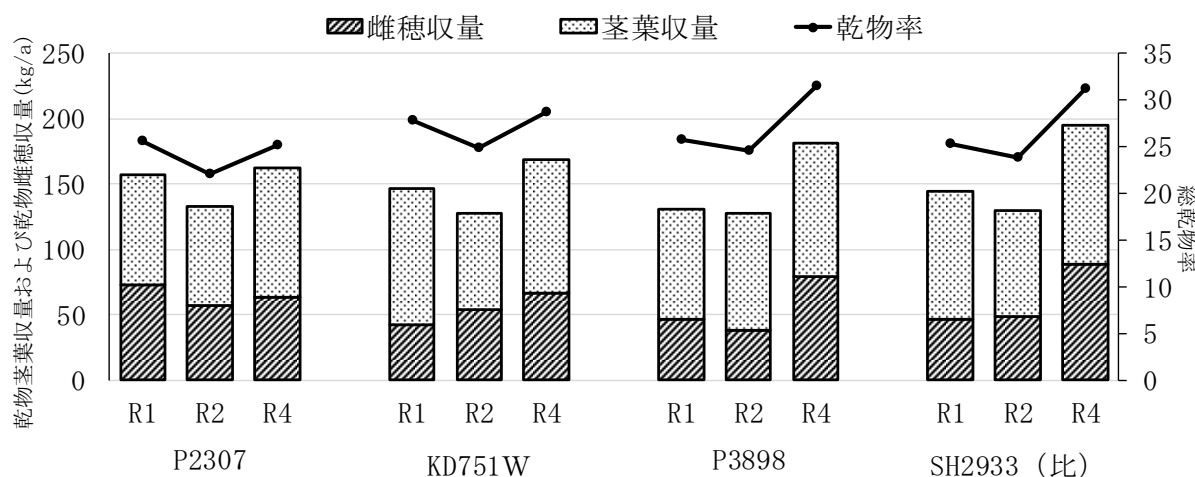


図1 品種ごとの3か年の乾物茎葉収量、乾物雌穂収量および乾物率